

「見立てる」「生き物は円柱形」(光村書籍5年)

安芸高田市立向原小学校 佐野 育代

(1) 教材について

本単元は、作者の主張したいことは何なのかを読み取って要旨をとらえ、自分の考えを深めることをねらいとしている。論理展開を理解するためには、段落構成を理解することが必要である。それぞれの形式段落がどのような意味をもち、文章全体を俯瞰した場合、どのような働きをしているのか、理解することが必要である。そのため、まず、1つ目の教材「見立てる」で文章構成や例の挙げ方について考えながら、筆者の考えをまとめていく。「見立てる」の教材での学びを生かし、2つの教材「生き物は円柱形」で文章構成をとらえ、筆者の主張を理解させていくものである。さらに、整理したものを基に要旨をまとめていく。

また、最終目標を「お気に入りの本のブックリストを作ろう」とし、自分の考えをまとめて発表することに生かす。

(2) 学習目標について

① 価値目標

国語科「読むこと イ」では、「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」が指導事項となっている。

そこで5学年の道徳2-(4)「謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。」と関連づけて「作者の主張したいことは何なのかを読み取って要旨をとらえ、自分の考えを深める」ことを価値目標として位置づける。

最終目標を「お気に入りの本のブックリストを作ろう」とし、「本は友達」の単元と関連し要旨をまとめる力を生かしていく。

② 技能目標

(ア) 関連する指導事項の中心は、読むことエ「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」である。事実と意見の関係を押さえ、筆者の考えにせまる。

(イ) 最終目標を「お気に入りの本のブックリストを作ろう」に関連し、書くことイ「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること。」も技能目標とする。

(3) 態度目標

文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えに対して自分なりの考えを広げたり

深めたりしようとしている。

(4) 言語活動と活動目標

○ 言語活動

「お気に入りの本のブックリストを作ろう」原稿作り

○ 活動目標

「お気に入りの本のブックリストを作ろう」を最終目標とし、「ブックリスト」を書く言語活動を設定する。「見立てる」「生き物は円柱形」から学んだ要旨のまとめ方を基に、自分の考えとその理由を加えた討論会原稿を作る。

このような活動を通して、目的や意図などに応じて、自分の考えを論理的にまとめる力が身に付くと考える。

(5) 方法と評価 (全8時)

活動目標＝単元名 (「お気に入りの本のブックリストを作りみんなに紹介しよう」)

	言語活動	学習目標	評価方法
導入 1 時	○「生き物は円柱形」を読み共感・納得したこと等を50字程度で書く。	○最終ゴール「お気に入りの本のブックリストを作りみんなに紹介しよう」とし学習計画を立てる。 (態度達成目標) ○文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えに対して自分なりの考えを広げたり深めたりしようとしている。	・発表
展開 ①	○「見立てる」を読み、文章の書き方や筆者の考えを話し合わせる。	(技能目標達成) ○「見立てる」を読み、文章構成や例の挙げ方について考えながら筆者の考えをまとめる。	・発表 ・ノート
展開 ②	○「生き物は円柱形」を読み、構成・筆者の主張を読み取らせ話し合わせる。	○「見立てる」で学習した文章構成を生かし、文章の構成と内容を表にまとめる。 ○「見立てる」で学習した筆者の考えのとらえを生かし、「生き物は円柱形」の筆者の考えを書く。 ○まとめたことを基に、要旨を書く。	・ノート ・発表

5 時	○筆者の主張を考えながら、自分の考えをまとめる。	○表現のしかたに着目し自分の考えを話し合う。	・ノート
終 結 2 時	○お気に入りの本を一冊選び、要旨をまとめる。 ○「お気に入りの本のブックリスト」交流会を行う。	○「お気に入りの本のブックリスト」原稿を作成する。 (価値目標形成) ○交流会を行なう中で、相手を読みたくなるような内容だったか、自分の考えが伝わったかを交流する。	・原稿 ・討論会 ・評価カード

(6) おわりに

○自分の考えをまとめ意見を述べる場面は多い。本単元の「読み」と合わせて、説得力について考える契機としたい。また、自分の考えをまとめる力を向上することは、他教科の学習の指導内容を深めることにつながると考える。